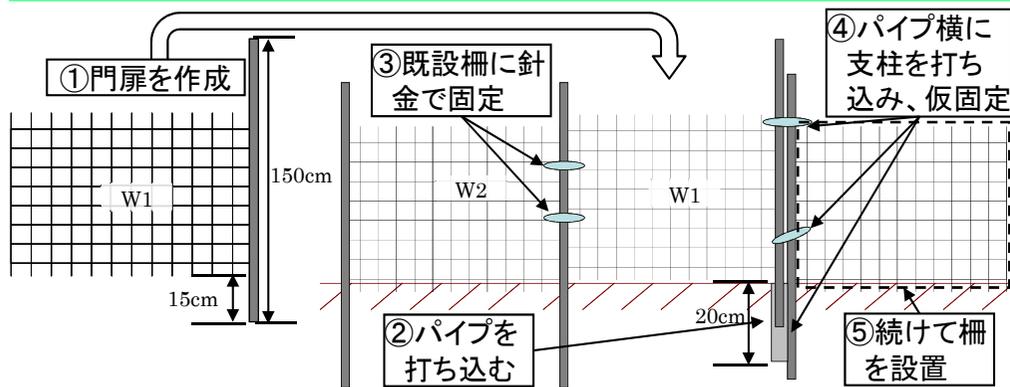


4 門扉(出入り口のとびら)の作り方



- ① 門扉になるワイヤーメッシュ(W1)の片端に、支柱を針金で固定する。
- ② 既設のワイヤーメッシュ柵(W2)の支柱に上図のとおりW1をあてがい、反対側の扉の端になる位置の地中に、塩ビ管や単管パイプ等を打ち込む。
- ③ W2を固定している支柱に針金を輪状にしてW1を固定する。この時、輪状の針金の直径は大きめに、W1が上下前後に動くようにしておく。
- ④ パイプ横に支柱を打ち、先にW1に固定した支柱と仮固定する。
- ⑤ パイプ横の支柱を利用して、ワイヤーメッシュ柵を続けて設置する。

〈ワイヤーメッシュ柵の点検のポイント〉

■ 月1回以上(収穫前は月2回以上)は地際を中心に柵を点検し、草を刈って修繕等の適切な維持管理を行いましょ。

日常の維持管理のポイント	チェック
○ 野生動物が侵入した痕跡はないか 【対処法】足跡や糞等を確認して加害種を同定、対応を再検討	<input type="checkbox"/>
○ ワイヤーメッシュの下の地面が掘られていないか 【対処法】メッシュの端材を柵の外側の掘られた箇所に敷く	<input type="checkbox"/>
○ ワイヤーメッシュに折り曲げなどが生じていないか 【対処法】折り曲げを修繕、乗越えの場合は複合柵の設置を検討	<input type="checkbox"/>
○ 支柱とワイヤーメッシュを結ぶ針金はずれていないか 【対処法】はずれている箇所を適宜修繕する	<input type="checkbox"/>
○ 柵にツルが巻き付いたり、柵周辺の草が伸びていないか 【対処法】草刈りにより、明るく見通しのよい環境づくりを実施。	<input type="checkbox"/>

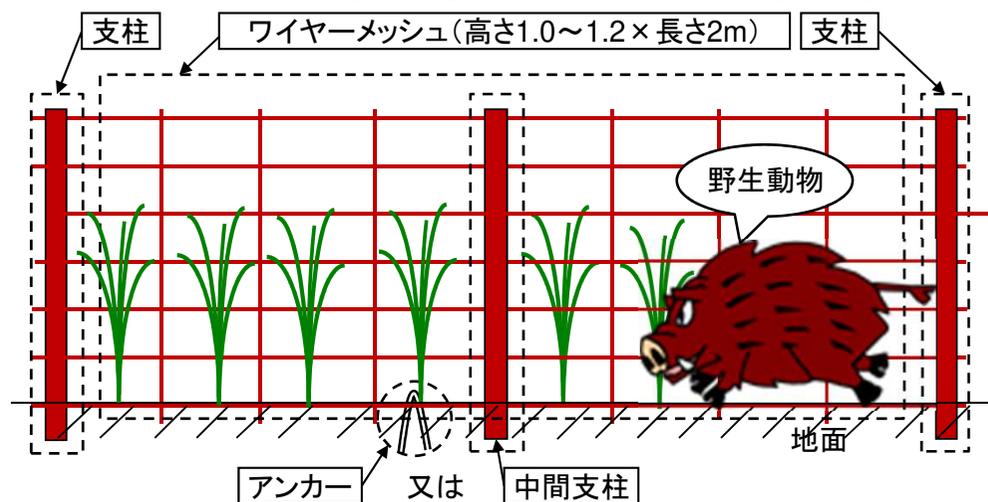
鳥取県版ワイヤーメッシュ柵設置・点検マニュアル
 〈発行日〉平成29年4月(令和4年9月一部改訂)
 〈発行〉鳥取県鳥獣対策センター
 〈連絡先〉0858-72-3820・3821
 〈ホームページ〉<https://www.pref.tottori.lg.jp/257337.htm>

ワイヤーメッシュ柵設置・点検マニュアル

鳥取県鳥獣対策センター

ワイヤーメッシュ柵は野生動物の農地等への侵入を防ぐ有効な方法です。効果的な設置や適切な維持管理を行いましょ。

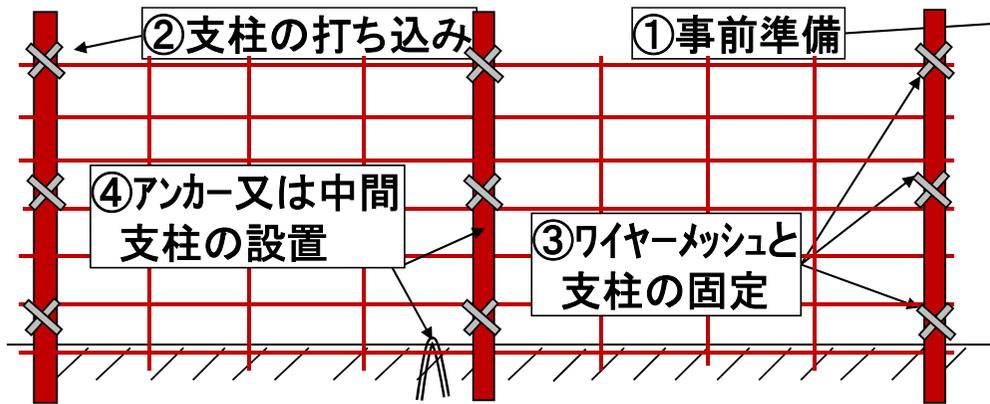
〈ワイヤーメッシュ柵の構造〉※イノシシ対策の場合



〈準備する資材・道具〉※イノシシ対策の場合

種類	留意事項・説明(参考例:鳥獣対策虎の巻)
ワイヤーメッシュ	大きさ:(高さ)1.0~1.2m×(長さ)2m、鉄線:5mm以上(亜鉛メッキ加工が錆びにくい)、メッシュ目合い:15cm以下 ※シカ対策の場合は、高さは2.0m程度
支柱(異径鋼線)	太さ:13mm以上、長さ:約1.8m前後
アンカー又は中間支柱	アンカーの太さ:10mm程度、中間支柱の太さ:支柱と同じ
針金(番線)	太さ:14~16号程度、なまし番線は耐久性大で曲げ易い
ハンマー(打込み器)	支柱の打ち込みに使用
ペンチ・クリッパー	針金・支柱の切断に使用
金属パイプ	アンカー作成に使用、太さ20mm程度(支柱より太い)
シノ(ドライバー・ペンチ)	支柱とワイヤーメッシュを針金で結ぶ際に使用

<ワイヤーメッシュ柵の設置方法>



1枚のワイヤーメッシュ(長さ2.0m)の間に「アンカー」又は「中間支柱」を設置

【設置場所の選定、設置の際の注意点】

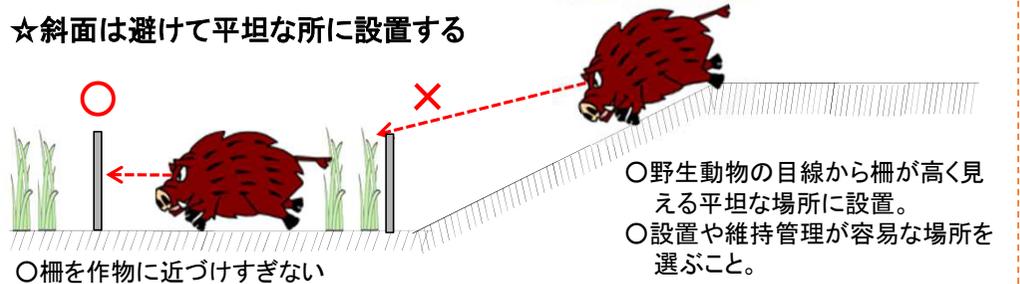
1 どのルート・位置に設置するか

☆柵のルートの決め方

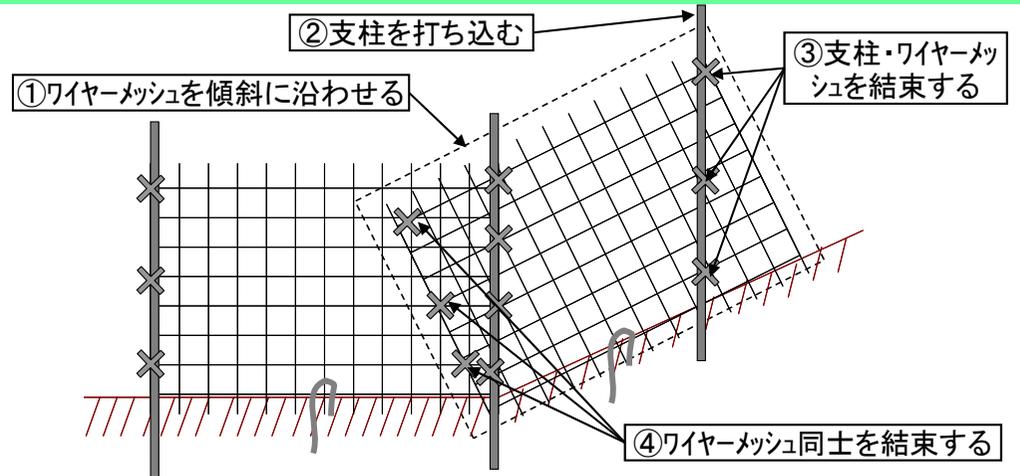
- ①守るべき対象・守るべき範囲は？
◇何を守るのかを明確にし、守るべき範囲はどこかを現地及び地図等で確認する。
- ②どんな野生動物が、どこから侵入してくるか？
◇野生動物がどこから侵入してくるかを現地確認し、地図等に記入する。
- ③どのルートに設置するか？
◇見回りや草刈り等の日常的な維持管理が容易で、農地のそば等高い侵入防止効果が得られるような柵のルートを①・②の結果から検討する。

2 柵の位置の決め方

☆斜面は避けて平坦な所に設置する



3 傾斜地での設置方法



☆傾斜地での設置の手順

- ①傾斜に沿ってワイヤーメッシュをあてがい、支柱の位置を決める。
- ②支柱を垂直方向に打ち込む。メッシュを結束し易いように支柱を少し傾けてもよい。
- ③ワイヤーメッシュを踏み込んで結束する。必要に応じて整地、又はメッシュを切断する。
- ④メッシュ同士の角度を調整、隙間ができないように結束する。

設置のポイント	チェック
①柵設置の事前準備とは？ ◇柵の設置場所(ルート・位置)をよく検討し、草刈りや資材の分配(例:20mごと)を行う。	□
②支柱をしっかり打ち込む！！ ◇始点を決めて、柵の高さに合わせて支柱を打ち込む。 ◇支柱は、30～50cm以上の深さまで打ち込む。 ◇支柱は、柵に対して耕作地側にくるようにする。 ◇2枚のワイヤーメッシュの端と支柱が重なるようにする。	□ □ □ □
③ワイヤーメッシュの向きに注意し支柱に固定！！ ◇支柱と柵の向きに注意して、柵を地面に埋め込む。 ◇ワイヤーメッシュの縦の鉄線は野生動物が来る側に向け並べる。 ◇ワイヤーメッシュは、地面との隙間ができないように設置する。 ・地面の凹凸が多い所では、設置前にできるだけ整地する。 ・ワイヤーメッシュの下部の鉄線が突き出ている部分は、イノシシに持ち上げられにくくするため、必ず土の中に埋め込む。 ◇支柱とメッシュの上下2～3箇所を針金(たすきがけ)で結束。 ◇傾斜地では、メッシュ同士に隙間ができないよう重ねること。 ◇水路・溝などの凹部分は、切断したメッシュを挿入・固定する。	□ □ □ □ □ □ □ □
④アンカー又は中間支柱でしっかり固定！！ ◇アンカーや支柱を用いて、ワイヤーメッシュの中間をしっかりと固定する。	□